

相浦聡先生の略歴及び主な研究業績

略 歴

昭和45年 3月	京都府立鴨沂高等学校卒業
昭和50年 3月	京都大学文学部卒業
昭和52年 3月	京都大学文学研究科修士課程修了
昭和52年 4月	京都大学文学研究科博士課程進学
昭和52年 5月	鹿児島大学教養部助手
昭和53年10月	鹿児島大学教養部講師
昭和60年 4月	鹿児島大学教養部助教授
平成 9年 4月	鹿児島大学法文学部助教授
平成19年 4月	鹿児島大学法文学部准教授

主な研究業績

1. 論文

- (1) 「Chr.M.Wielandの『黄金の鏡』について」鹿児島独仏文学論集 VERBA 3号 (1978年)
- (2) 「Chr.M.Wielandにおける2つの世界観の相克—小説『Agathon物語』の意味—」鹿児島独仏文学論集 VERBA 5号 (1980年)
- (3) 「Chr.M. ヴィーラントにおける『熱狂 (Schwärmerey)』の概念について—小説『ペレグリヌス・プロートイス』の意味—」鹿児島独仏文学論集 VERBA 9号 (1984年)
- (4) 「オペラ『魔笛』の台本解釈をめぐって—18世紀の文脈の中で—」鹿児島独仏文学論集 VERBA 12号 (1987年)

2. 報告書

- (1) 「ビデオ検討委員会活動報告(1)」鹿児島独仏文学論集 VERBA 5号 (1980年) [山原芳樹・藤田正嗣・長谷川茂夫・中野景子・島途健一と共著]
- (2) [九州地区ドイツ語教授法ゼミナール報告]「教養課程におけるドイツ語教育の意味」鹿児島独仏文学論集 VERBA 6号 (1981年)
- (3) 「ビデオ検討委員会活動報告(2)」鹿児島独仏文学論集 VERBA 6号 (1981年) [山原芳樹・藤田正嗣・長谷川茂夫・中野景子・島途健一と共著]
- (4) 「ビデオ検討委員会活動報告(3)」鹿児島独仏文学論集 VERBA 9号 (1984年) [山原芳樹・藤田正嗣・長谷川茂夫・中野景子・島途健一・安東清と共著]